

ODAWARA

2017年12月期（第39期）
決算説明資料

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2018年2月14日

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

○経済の動向

《我が国の経済》

- ・有効求人倍率の高水準や完全失業率の低水準が継続するなど、雇用情勢は着実に改善した
- ・実質総雇用者所得は緩やかに増加するなど、個人消費は持ち直した
- ・生産や設備投資の緩やかな増加、企業収益の改善が続いた
- ・企業の業況判断が全規模全産業で改善した
- ・全体として緩やかな回復が続いた

《世界経済》

- ・中国…生産や消費は伸びが概ね横ばいとなり、固定資産投資は伸びがやや低下したものの、各種政策効果もあり景気は持ち直しの動きが続いた
- ・米国…生産は持ち直し、個人消費や設備投資の増加、雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は着実に回復が続いた
- ・欧州…生産は持ち直し、機械設備投資は緩やかに増加し、失業率に低下がみられるなど、景気は緩やかに回復した
- ・全体…全体として緩やかに回復した

○連結業績概要

《営業成績》

(単位：百万円)

指標	実績	前年同期比	増減要因
売上高	12,823	17.7%増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内外で積極的な営業活動を展開 ➢ 顧客満足度の向上を推進
営業利益	1,280	40.0%増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 生産効率の向上等にグループをあげて積極的に取り組んだ結果、原価低減が図られた
経常利益	1,326	35.0%増	
当期純利益	2,178	182.5%増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 投資有価証券売却益を特別利益に計上

《新製品開発の代表例》

【巻線機事業】

- ハイブリッドカーや電気自動車の駆動モーター用設備として生産性を向上させたコイル製作機
- 省エネタイプのアコン・冷蔵庫用コンプレッサモーターの多機種対応全自動巻線ラインシステム

【送風機・住設関連事業】

- 耐油仕様ラジアルファン、DCモーター使用の換気装置、LED素子使用の浴室用ライン照明など、品質向上や省エネ化等を意図した新製品

○連結セグメント業績概要

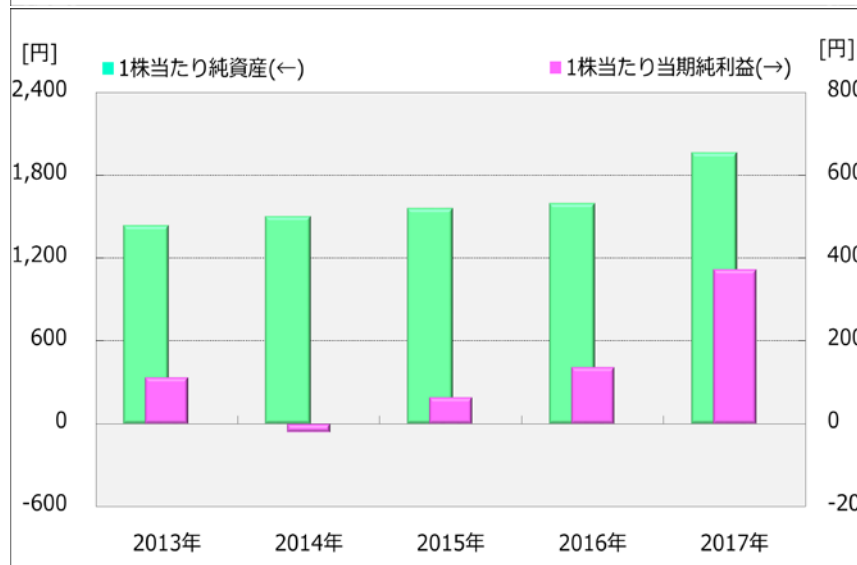
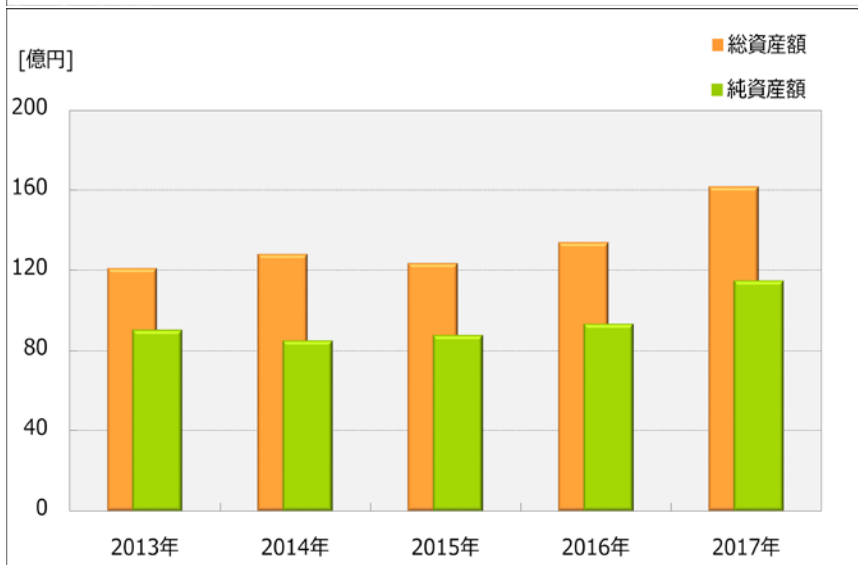
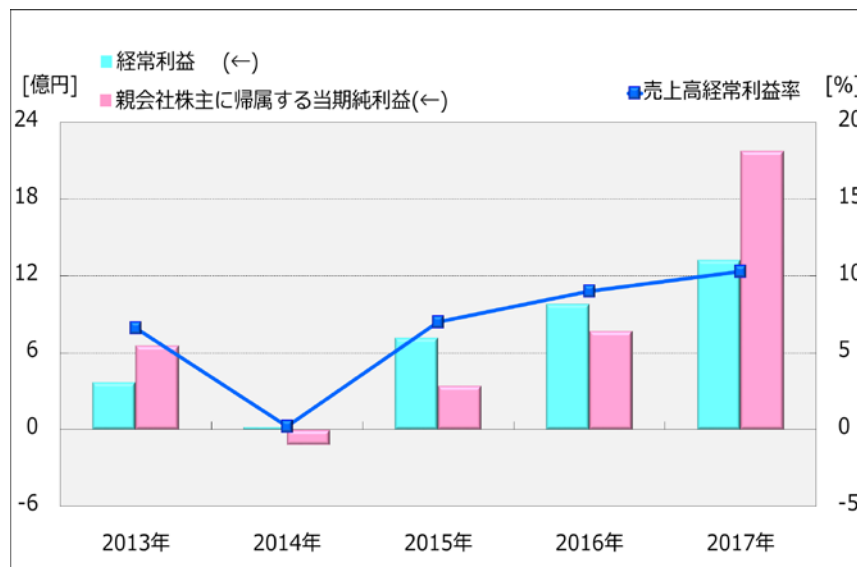
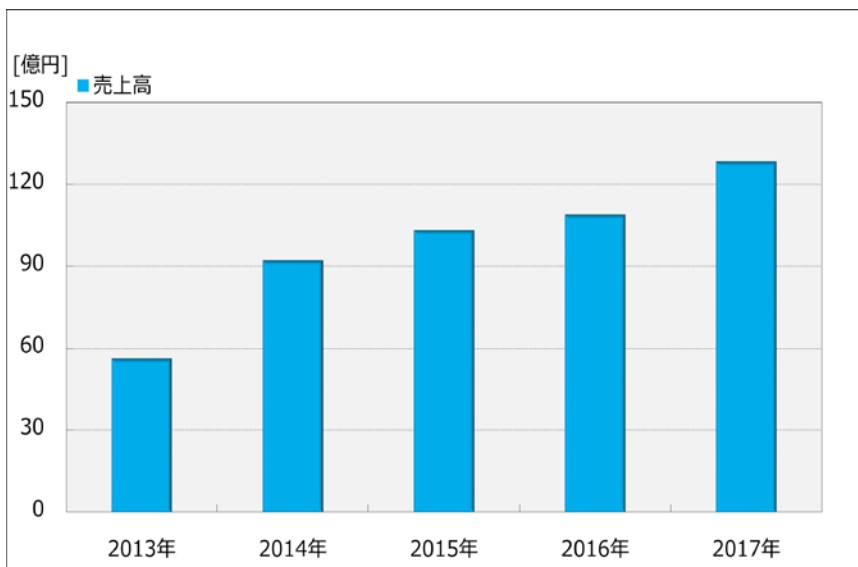
《セグメントの業績》

(単位：百万円)

セグメント		実績	前年同期比	増減要因
巻線機事業	売上高	8,335	23.9%増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自動車、家電製品向け設備や改造・治具等が好調に推移 ➢ お客さまの納期前倒し要請により、翌期に予定していた案件を当期に売り上げた
	セグメント利益	1,475	49.5%増	
送風機・住設関連事業	売上高	4,487	14.5%増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 鉄道車両用送風機の本格量産が売り上げに寄与した ➢ ラジアルファンの増産及び新規採用 ➢ 軸流ファンの新機種が半導体関連向けに採用された ➢ 照明器具のLED化や換気事業が堅調に推移
	セグメント利益	135	—	

※送風機・住設関連事業における前年同期は30百万円のセグメント損失

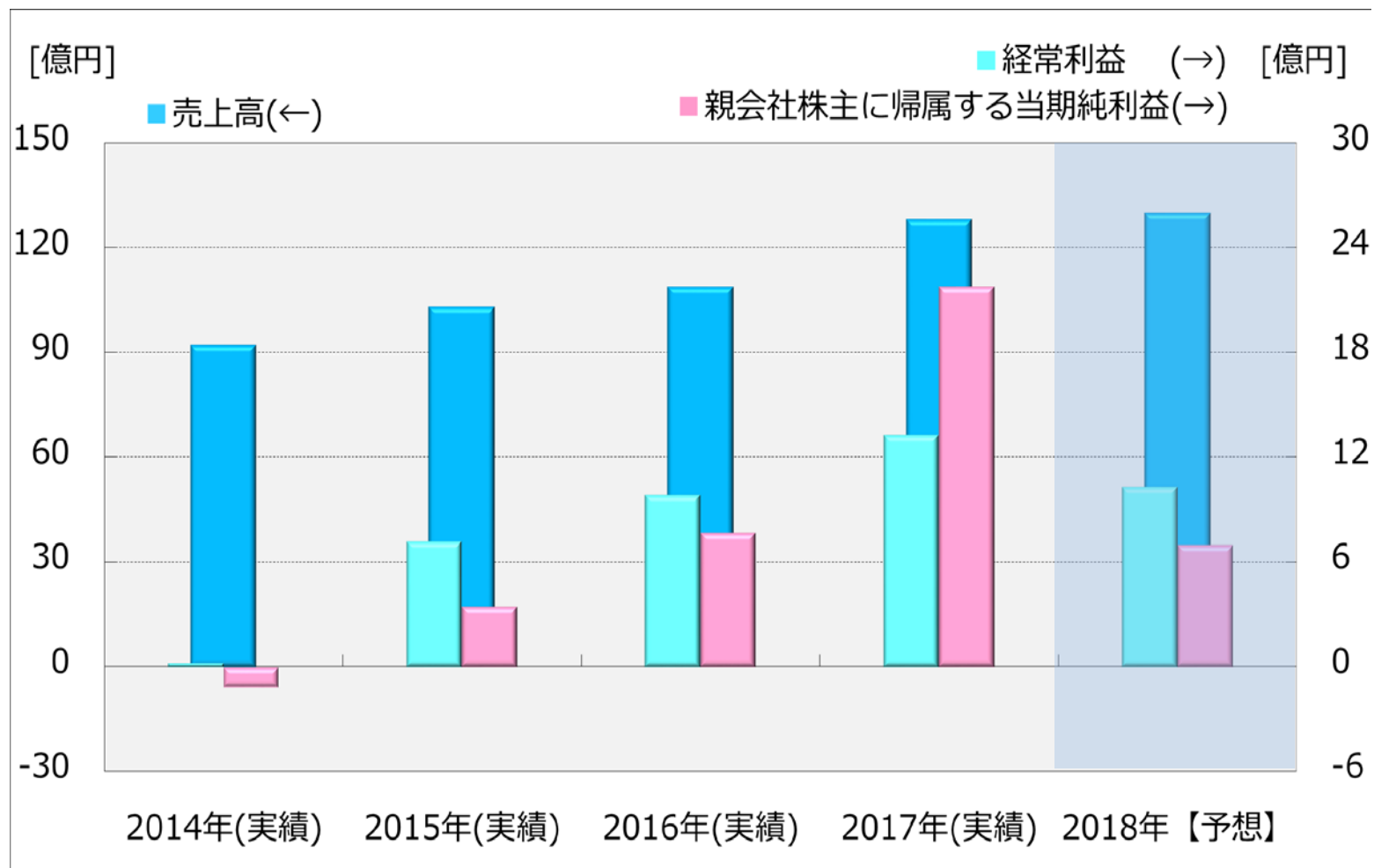
○連結業績の推移



○連結業績の推移

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
売上高 (百万円)	5,626	9,219	10,319	10,894	12,823
経常利益 (百万円)	372	22	717	983	1,326
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	659	▲116	344	771	2,178
純資産額 (百万円)	9,039	8,520	8,777	9,346	11,505
総資産額 (百万円)	12,121	12,837	12,380	13,413	16,196
1株当たり純資産 (円)	1,437.87	1,504.49	1,563.26	1,598.21	1,967.53
1株当たり当期純利益 (円)	112.74	▲20.49	64.90	137.15	372.46
売上高経常利益率 (%)	6.6	0.2	7.0	9.0	10.4

○連結業績予想



【次期連結業績予想】

- 売上高
13,000百万円
※前年同期比1.4%増
- 経常利益
1,030百万円
※前年同期比22.4%減
- 親会社株主に
帰属する当期純利益
700百万円
※前年同期比67.9%減

○決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

① 株式会社 小田原エンジニアリング